

第5回政令指定都市問題研究会 会議の概要

1 日時

平成19年8月24日（金）午後2時から午後4時まで

2 場所

我孫子市役所議会棟第1委員会室

3 主催者

東葛広域行政連絡協議会（事務局：柏市）

4 会議の概要

●協議事項（1）「今後の調査・検討について」

事務局から「今後の調査・検討について」に基づき説明を行い、説明を受けて議論を行った。意見の概要は以下のとおり。

■組合せパターンについて

- ・ 人口100万人以上のパターンをベースとした方がよいのではないか。昼夜間人口比については、本地域の特性としてどのパターンにおいてもある程度都内への流出があるのはやむをえないことである。
- ・ 飛び地を作らない組み合わせとすることは必要であろう。
- ・ 組合せを最初から決めるのは難しいのではないか。1市が抜けた場合でまちづくりの方向性に大きな影響はないということも考えられる。まずは6市全体のものを整理してから進めてはどうか。
- ・ 1市だけ除いたパターンを検討するのは望ましくないのではないか。
- ・ 1市だけを除いたパターンは、除かれた市としては市民への説明が難しい。全体だけでよいのではないか。
- ・ 政令市ありきではなく、研究ということで始まっているので、いくつかのパターンがあってもよい。市民の方々に幅広く考えてもらうという観点からは、複数あった方がよいのではないか。
- ・ 研究であるということを踏まえると、6市1つに限らず、複数パターンあってよい。パターンにより差が出なかったという結論となったとしてもそれは一つの研究成果である。3パターンぐらいあった方が研究がより深まるのではないか。
- ・ プロセスとしては、共通事項の整理を行った上で、その中でパターンとして出せるものがないかを検討するという順がよいのではないか。

→ これらの議論を踏まえ、会長から以下のような調整案が示され、合意した。

- ・ 現時点でパターンを絞り込むのではなく、6市全体について作業を進め、共通事項の整理等を行う中で、共通項や特徴のあるパターンとして打ち出せるものがあれば検討する。

■基礎指標等の整理について

- ・ 都市計画面積、人口集中地区の人口、産業の実態を示す指標、人口動態（年齢別）、医療施設数なども整理してはどうか。

■合併した場合の財政規模等の大まかな試算について

- ・ 試算対象外としている項目についても検討対象とした方がよいのではないか。
- ・ 交付税については影響が大きいいため、大まかなものでもあった方がよいのではないか。
- ・ 地方交付税については、各市の協力を得て実施する方向で調整してはどうか。
- ・ 社会資本投資をどうするかということもある。例えば、下水道普及率の向上のために必要な投資規模や、施設の統廃合の効果についても考慮することが必要ではないか。
 - 具体的な数値化は難しいが、過去の調査で施設が重複している状況は把握しており、考え方を整理する形でどうか。（事務局）

■行政区の検討について

- ・ 行政区の区割りについては、行政界が入り組んでいる地域の区割りの見直しをどうするかといった議論もできるのではないか。
- ・ 消防、防災、学校区の再編についても検討が必要ではないか。
- ・ 当地域は住宅が連たんしており、消防・防災・学校等、市民サービスへの効果が出やすい地域だと考えられる。こうした効果をわかりやすく示してほしい。

■行政区の役割・機能についての基本的な考え方について

- ・ 1区あたりの標準的な人口規模をどう設定するかにより、いわゆる大区役所制とするか、小区役所制とするかが左右されるのではないか。
- ・ 行政区について、既存の市の区域を2つ以上に分割しない場合、よりきめ細やかなサービスが実現するという説明はあてはまらない。近年の政令市の例では既存の市の区域により多くの権限を残す方向にあるのではないか。市民にとってどのような効果があるのか、頭出しが必要ではないか。

● 協議事項（2）「シンポジウムについて」

事務局より「政令指定都市シンポジウムの開催について（案）」に基づき説明があり、

説明を受けて議論を行った。意見の概要は以下のとおり。

- ・ 意見をもらうということであれば別の方法があるかもしれない。どういう位置づけで実施するのか、ワークで検討してほしい。
- ・ シンポジウムを実施すること自体には異論はないが、時期を再検討してほしい。
- ・ 年度内に報告書を完成させることにこだわらず、じっくり市民の意見を受けて、フィードバックできることが望ましい。
- ・ 中間報告の内容について、最終報告に間に合うようなタイミングで行ってほしい。

● 協議事項（３）「先進地視察について」

- ・ 静岡市を第一希望として、９月の議会明けで日程調整を行うことで合意した。

以上